

中国語を母語とする日本語学習者に対する敬語教育の問題 —中国国内の日本語教科書にある「お／ご」の記述—

(『言語の研究』6号)
2020年3月)

馬 雲

1. はじめに

日本語の敬語は中国人日本語学習者が学習するうえでの大きな課題の一つである。中国人日本語学習者を対象とした敬語に関する先行研究は多くある。しかし、中国国内で出版されている教科書を調査対象として、学習項目と解説などの方面から分析した研究はまだ少ない。

本稿では、中国国内で使用されている日本語の初級・中級・上級教科書において、接頭語形式の敬語である「お/ご+名詞」と「お/ご+形容詞⁽¹⁾」がどのように扱われているか、また、教科書のどの段階で初出の項目として導入されているか、どのような解説がされているかなどについて調査と検討を行う。

2. 先行研究

2.1 日本語における敬語の分類

敬語は3分類と5分類の二種の分け方がある。従来の3分類では敬語を尊敬語・謙讓語・丁寧語の三つに分けている。文化審議会答申の『敬語の指針』(2007)では、敬語を尊敬語・謙讓語Ⅰ・謙讓語Ⅱ(丁重語)・丁寧語・美化語の5分類としている。

2.2 日本語初級教科書における敬語の扱われ方について

川口(1985)では、日本国内の日本語初級教科書の四種類を対象に、各教科書における敬語形式の種類とその分布、それぞれの敬語形式の導入の構成、敬語についての解説のしかたなどについて紹介している。その結果、敬語形式のもっとも多く現れる「特定の課」において敬語を学習項目の中心にしており、解説・練習も当該の課で扱われ、「特定の課」より以前の課では敬語形式がほとんど現れていない。また、『新しい日本語』という教科書では接頭語「お/ご」の美化語の用例があったが、美化語の用法の解説はどこにもないと指摘している。

2.3 接頭語「お」の使い分けについて

『敬語の指針』では、接頭語「お」あるいは「御」を付けて敬語にする場合の「お」と「御」の使い分けは、「お+和語」「御+漢語」が原則である、と記述されている。ただし、美化語の場

合は、「お料理」「お化粧」など、漢語の前でも「お」が使われることがある。また、美化語以外にも、「お加減」「お元気」など、変則的な場合もあるので、注意を要するとしている。また、「先生へのお手紙」「先生への御説明」のように、向かう先を立てる「お手紙」「御説明」は謙譲語Ⅰとなり、「先生からのお手紙」「先生からの御説明」の場合、行為者を立てる「お手紙」「御説明」は尊敬語となる。すなわち、同じ語形でも、尊敬語としても謙譲語Ⅰとしても使われるものと指摘されている。

3. 調査対象と調査目的

3.1 調査対象

本稿で調査対象とする教科書は、中国国内の大学や高校、日本語学校などで主に使用されている二種類の教科書である。二種類の教科書中で接頭語「お/ご」がつく例文や解説を調査範囲とする。敬語形式の「お/ご～になる、お/ご～なさる、お/ご～だ、お/ご～くださる、お/ご～する、お/ご～いただく」などは一つの文型として扱っている教科書がほとんどであり、学習者は文型で敬語の種類を判断できるので、これらは調査対象外とする。調査する教科書は以下のとおりである。

- ①『新版 中日交流標準日本語』⁽²⁾（第二版）（以下、『標準』）の6冊。『標準』は初級・中級・上級別にそれぞれ2冊あり、大学の第二外国語言語の教科書として使用されているだけでなく、高校や日本語学校で最も使用範囲の広い教科書とされている。
- ②『新経典日本語 基礎教程』⁽³⁾（以下、『新経典』）の第1冊から第4冊までの4冊。中国の四年制大学の日本語科で日本語を専攻としている学生に使用範囲の広い教科書であり、また、「大学日語」⁽⁴⁾という科目でも使用されている。

以上の教科書の本文・会話・文型解説などにおいてどのような接頭語形式の敬語が、何課で出てくるかについて調査した。

3.2 調査目的

3.1の二種の教科書にある敬語「お/ご+名詞」と「お/ご+形容詞」に関する記述や例文などを抽出し、中国国内における日本語教育の敬語取り扱い及び学習項目について使用実態を把握したうえで、その問題点を明らかにすることを目的とする。

3.3 調査方法

二種の教科書に記載されている接頭語「お/ご」敬語に関する語句及び記述をすべて抽出した。

4. 「お/ご+名詞」の敬語形式について

4.1 接頭辞「お」と「ご」の調査結果

『標準』にある「お」と「ご」がつく語の調査結果を【表1】に示す。【表1】からわかるように、『標準』にある「お」と「ご」には「尊敬語・謙讓語Ⅰ・美化語」の三種類の用法が確認された。

【表1】『標準』における接頭語敬語「お/ご+名詞」

レベル 類別		初級	中級	上級
お	尊敬語	おいくつ お嬢さん お大事 お返事	お上手、お仕事、お話中、お話、 お仕事中、お電話中、お食事中、 お疲れ、お休み、お宅、お手元、 お変わり、お泊まり、お分かり、 お急ぎ、おことづけ、お勤め、 お荷物、お電話、お怒り、お口、 お足元、おまけ、お困り、お手、 お呼び出し、お幸せ、お会計	お話 お宅 お嫁さん お手軽 お怒り お言葉 お嫁さん お祝い
	謙讓語Ⅰ	—	お見舞い、お構い、お詫び、 お手伝い	お返し
	美化語	お弁当、お茶、お金、お祭り、 お土産、お粥、お湯、お菓子、 お風呂、お寺、お酒、お汁粉、 お正月、お店、お皿、お花見、 お寿司、お手伝い、お腹、 お部屋、お手洗い、お座り、 お別れ、お客さん、お辞儀、 お年寄り	おかず、おせち料理、お祝い、 お湯、お昼、お芝居、おわん、 お呼び出し、おすすめ、お刺身、 お水、お会計、おしぼり、 おまけ、お肌、おすすめ、 お刺身、お水、おしゃれ、 おめでたい	お野菜
ご	尊敬語	ご家族、ご兄弟、ご両親、 ご趣味、ご出身、ご主人	ご都合、ご招待、ご予約、ご説明、 ご健康、ご発展、ご一泊、ご旅行、 ご結婚、ご不明、ご意見、ご自宅、 ご遠慮、ご配慮、ご栄転、ご心配、 ご結婚、ご迷惑、ご健康、ご発展、 ご旅行、ご指名、ご配慮	ご自身 ご質問 ご容赦 ご相談 ご入力 ご静聴 ご努力 ご報告
	謙讓語Ⅰ	—	ご説明、ご一緒	ご相談
	美化語	—	—	—

【表1】に示すように、「お大事、お返事、お弁当、お茶、お辞儀、お上手、お電話、お食事、お会計、お野菜」などのように、音読みの漢字語彙である「大事、返事、弁当、茶、辞儀、上手、電話、食事、会計、野菜」の前に「ご」ではなく、「お」をつける例が教科書で扱われていることが確認できた。

『新経典』にある「お」と「ご」がつく語の調査結果を【表2】に示す。【表2】からわかるように、『新経典』に出てきた「お」と「ご」にも「尊敬語・謙讓語Ⅰ・美化語」の三種類の用法が確認できた。

【表2 『新経典』における接頭語敬語「お/ご+名詞」】

レベル		一	二	三	四
類別					
お	尊敬語	おいくつ、お誕生日、お家、お礼、お時間、お祝い、お名前、	お休 お見舞い	お国	—
	謙讓語Ⅰ	—	—	お電話	—
	美化語	お茶、お金、お寿司、お土産、お菓子、お年玉、お友達、お酒、お湯、お腹、お酢、お風呂、お金持ち、お賽銭、おみくじ、お皿	お手本、お弁当、お見舞い、お好み焼き、お昼、お願ひ	お知らせ、お互い、お勧め、お祭り、お賽銭、おみくじ、お守り、お餅、お祝ひ、お好み、お酢、	お袋、お昼
ご	尊敬語	ご両親	ごちそう	ご静聴、ご用、ご遠慮	—
	謙讓語Ⅰ	—	—	—	—
	美化語	ご飯	—	—	—

『新経典』においても、「お誕生日、お礼、お時間、お電話、お茶、お賽銭」のように音読みする漢字語彙に「ご」ではなく、「お」をつける用例が確認された。

4.2 『標準』での調査結果について

『標準』での「お/ご+名詞」を含む例文を以下に示す（下線は筆者による）。

例（1）～（5）の下線部は誰の所有でもないのので、美化語であると判断される。

- (1) コンビニでお茶とお弁当を買いました。(初・L7)⁽⁵⁾
- (2) お酒は大好きですから、毎晩飲みますよ。(初・L12)
- (3) 病人のお見舞いに行く時、花束を買って行ったほうがいいです。(初・L24)
- (4) 学生の時、みんなでお芝居へ行ったよね。(中・L6)⁽⁶⁾
- (5) よろしければ、お呼び出しのアナウンスをいたしましょうか。(中・L9)

尊敬語として使用する例としては、以下の用例がある。例（6）～（11）は、「お」または「ご」を付ける名詞が相手側の所有であるので、尊敬語と判断される。

- (6) お母さんはおいくつですか。(初・L2)
- (7) ご両親はどちらですか。(初・L4)

- (8) A: すてきなお庭ですね。
 B: いいえ、狭い庭で… (第3単元⁽⁷⁾)
- (9) 早速のお返事、どうもありがとうございました。(初・L42)
- (10) キャンセル待ちのお客様は後ほどお呼び出しをいたします。(中・L9)
- (11) ご説明は田中さんからだいたい伺っています。(中・L12)

謙讓語 I として使用されている用例には以下のものがある。

- (12) 週末、鈴木さんのお見舞いに行こうと思うんですが、王さんも行きませんか。(初・第8単元末)
- (13) 来週中にはお返事できるはずです。(初・L42)
- (14) できるだけ早くご説明に伺いたと思います。(中・L7)
- (15) 私たちは、お手伝いをただけです。(中・25)
- (16) すぐにお詫びにお伺いします。(中・L46)

上記の用例からわかるように、例 (11) と例 (14) の「ご説明」は尊敬語としても謙讓語 I としても使用できる。例 (3) の「お見舞い」は謙讓語 I であるが、例 (12) の「お見舞い」は立てる相手がいないので美化語になる。「お～」「ご～」という敬語が、尊敬語・謙讓語 I・美化語のいずれにもあり、「お～」「ご～」を敬語上で分類するとき判断に迷うことがある。「お～」「ご～」単独では判断できず、当該例がどのような「敬語的性質」を有しているかについては、前後の文脈や実際のコミュニケーションの中で判断することになる。このような接頭語の敬語の習得は日本語学習者にとってはかなり難しいと思われる。

以上の用例から、「お」と「ご」は使い分けがあるが、『標準』では、「お」と「ご」についての解説は以下のように記述されている。

なお、『標準』初級の第3課では接頭語「お」についての解説は以下のとおりである。

“お国はどちらですか” “会社はどちらですか”

询问来自哪个国家时，一般用“国はどちらですか（你是哪个国家的？）”。在“国”前面加上“お”变成“お国”则更礼貌一些。要注意不是所有的名词前都可以加“お”。

「どの国から来たのか」を聞く場合、普通は「国はどちらですか」で聞くが、「国」の前に「お」をつけ「お国」で聞いた方がより丁寧である。ただし、あらゆる名詞の前に「お」をつけてもいいというわけではない（中国語原文の日本語訳は筆者による。以下同じ）。

『標準』初級の第4課では接頭語「ご」についての解説は以下のとおりである。

“ご家族” “ご兄弟” “ご両親” [礼貌语言]

“お客様”中的“様”也表示尊敬的含义。

形容词 お忙しい 忙 お元気 精神, 精力充沛
お若い 年轻 お暇 闲暇

動詞以外の敬語形式

第47課では動詞の尊敬語形式を学んだ(第47課文法解説3~6)。本課では動詞の謙讓語形式を学んだ。敬語を使用する際、動詞だけではなく、同じ文にある一部の名詞または形容詞もそれなりの敬語形式がある。以下はよく使用される名詞と形容詞の敬語形式である。

尊敬語

名詞と形容詞の前に「お」または「ご」を付ける。普通、日本語固有のもの前に「お」、漢語の前に「ご」を付ける。

名詞：お食事 お荷物 ご利用 お手紙 お客様 ご家族

形容詞：お忙しい お元気 お若い お暇 (筆者による日本語訳)

「お」と「ご」の接頭辞としての尊敬語・謙讓語Ⅰ・美化語の使い分けについての説明は当該の教科書では詳しく記述されておらず、学習者がその用法を正しく理解できるかどうかは疑問である。

以上の解説では、どのような名詞の前に「お」をつけるか、どのような名詞の前に「ご」をつけるのかの説明も記述されていないので、第48課までにならないと、学習者がいずれを使用するか判断に迷う可能性がある。指導内容として、「基本的に和語には「お」、漢語には「ご」がつく、「お掃除、お電話」など例外もある」というような記述を先行する課に入れるべきである。また、「電話」は初級の第2課、「名前」は初級の第8課にすでに出ているが、日常生活でよく使用されている「お名前」と「お電話」は中級の第10課にならないと出てこなかった。教科書の指導項目としてはもっと早い段階で「お名前」を入れるべきである。

また、「お」と「ご」についての解説は「丁寧な言い方」であるとしか記述されておらず、第48課でも、「お」と「ご」には尊敬語の用法もあることがここでやっと説明されている。しかし、第48課より前の課では、尊敬語用法、謙讓語用法、美化語用法の用例はすべてあるが、用例(12)の「お見舞い」の謙讓語用法についての解説は記述されていない。さらに、『標準』中級の教科書で確認すると、以下のように記述されている。

お泊まり

“お泊まり”是动词“泊まる”的尊他语“お+泊まり+になる”省略掉“になる”后的名词形式。后续名词“ホテル”时必须加助词“の”变成“お泊まりのホテル”，意思是“您下榻的宾馆”。还可以使用另外一种形式的尊他语“泊まられている”，但是“お泊まりの”更简洁。与“お泊まり”类似，在表示对方动作的动词的名词形式前加“お”构成尊他语的还有“お急ぎ”“お困り”等等。而且还可以后续“です”构成谓语，如“お泊まりです”。

「お泊まり」は動詞「泊まる」の尊敬語「お+泊まり+になる」が「になる」を省略した後の名詞形式である。後ろに「ホテル」がつく場合、助詞の「の」を必ず付けて「お泊まりのホテル」になる。意味は「お泊まりのホテル」である。もう一つの尊敬語形式「泊まられている」も使えるが、「お泊まりの」のほうがより簡潔である。「お泊まり」と同じように相手の動詞を表す動詞の名詞形式の前に「お」を付けて尊敬語となるのは「お急ぎ、お困り」などがある。また、後ろに「です」を付けて述語となり、「お泊まりです」の形になる。

(筆者による日本語訳)

また、『標準』上級の教科書では、次のような解説がある。

動詞以外の敬語表达方式

尊他語表达方式中有在对方持有物品或动作的名词前加“お”的用法(初級第48課)。课文中的“お電話”就是一例。这个例子指对方打来电话时所说的内容。也可以用于“おかばん”“お車”等表示物品的名词。此外,还可在表示对方状态的形容词前加“お”,如“お早い”“お若い”。课文中的“お忙しい”就是这种用法。除一类形容词外,二类形容词也可以加“お”,如“お大事”。名词、二类形容词词干及汉字词不加“お”而加“ご”表示。如“ご出張”“ご都合”“ご立派”“ご不便”。但一些常用汉字词如“電話”不用“ご”而用“お”来表示。如“お電話”“お返事”“お大事”等。

動詞以外の敬語形式

尊敬語の中で、相手の所有物または動作の前に「お」を付ける用法を学んだ(初級第48課)。「お電話」はその中の一例である。この例文(お電話ありがとうございます)は相手から電話があったときに使う。「おかばん、お車」など物事を表す名詞にも使える。また、相手の状態を表す形容詞の前に「お」を付け、「お早い、お若い」にもなる。本課にある「お忙しい」はこの用法である。イ形容詞以外、「お大事」のようにナ形容詞の前にも「お」を付けることができる。「ご出張、ご都合、ご立派、ご不便」のように名詞・ナ形容詞の語幹・漢語の前に「お」ではなく、「ご」を付ける。ただし、「お電話、お返事、お大事」などのように一部の漢語の前に「ご」ではなく、「お」を付けて使う。(筆者による日本語訳)

以上の解説の中には「お」「ご」の謙讓語用法について初級・中級・上級のいずれの教科書にも記述されていないことが明らかである。

また、「おもちゃ」は「もてあそび」の転「もちゃすび」に接頭語「お」がついた語であるが、現在は「おもちゃ」で一語化しているので「お」を分出できない。しかし、調査に協力した中国人日本語学習者の一人が「おもちゃ」を美化語として認識しており、本人に確認したところ、「お」がついているので、丁寧な言い方である」ということであった。

4.3 『新経典』での調査結果について

『標準』と比べ、『新経典』での「お/ご+名詞」についての解説は第1課にあり、以下のよう
に記述されている。

“ご・お”は接头詞、放在某些词语前面，添加尊敬，自谦或礼貌的含义，不能单独使用。“ご”
经常放在音读的单词前，“お”则经常放在训读的单词前。

「ご・お」は接頭辞であり、ある言葉の前につき、尊敬、謙讓または丁寧な意味が含まれ、
単独で使えない。「ご」は音読みとする言葉の前に、「お」は訓読みする言葉の前につく。

(筆者による日本語訳)

また、『新経典』の第47課は敬語をまとめて解説した課である。その中にある「お/ご+名詞」
についての解説の日本語訳と併せて示す。

尊敬語（尊敬語）：对他人的动作、行为表示尊敬。

名詞：在名詞前加上「お」「ご」「御（おん）」「み」「尊」「貴」等。

車→お車 心→お心、み心 主人→ご主人

会社→貴社、御社 自宅→お住まい

自謙語（謙讓語）：通过降低自己（己方）行为等的方式向对方表示敬意。

名詞：前接接头詞「拜」「粗」「弊」「拙」「小」等。（也可后续接尾詞，如：わたくしども）

茶→粗茶 品→粗品 著作→拙著 当社→弊社、小社

美化語（美化語）：优美文雅地表达事物。

前面加上「お」：店→お店、茶→お茶、菓子→お菓子、食事→お食事、

飲み物→お飲み物

前面加上「御（ご）」：住所→ご住所、説明→ご説明、祝儀→ご祝儀

改变词语：めし→ごはん 腹→おなか、便所→お手洗い

尊敬語：他人の動作、行為への尊敬を表す。

名詞：名詞の前に「お、ご、おん、み、尊、貴」などを付ける。

車→お車 心→お心、み心 主人→ご主人

会社→貴社、御社 自宅→お住まい

謙讓語：自分（自分側）の行為を低めて、相手への尊敬の意を表す。その表現の仕方を以下
に示す。

名詞：前に接頭語の「拜」「粗」「弊」「拙」「小」などを付ける。（また、後ろに接尾語を
付ける。例えば、わたくしども）

美化語：物事を美化して述べる。表し方は以下のようである。

前に「お」を付ける：店→お店、茶→お茶、菓子→お菓子、食事→お食事、

飲み物→お飲み物

前に「ご」を付ける：住所→ご住所、説明→ご説明、祝儀→ご祝儀

言葉をかえる：めし→ご飯、腹→おなか、便所→お手洗い

上記からわかるように、尊敬語・謙讓語・美化語の項目を立てているが、謙讓語の部分に「お、ご」の記述がないことがわかる。そこで、『新経典』全四冊を確認すると、以下のように「お・ご」の用例が抽出された。いくつかの例を挙げておく。(17)～(21)が美化語の例、(22)～(27)が尊敬語の例、(28)は謙讓語の例である。

- (17) これから近くの喫茶店へお茶を飲みに行きます。(一、L5)
- (18) お金がありませんから、新しい携帯は買いません。(一、L6)
- (19) 私はお腹が空いてこっそり一つ食べました。(一、L10)
- (20) ご飯を食べながら教科書を読むのは体に悪いですよ。(二、L2)
- (21) 浅草寺ではお賽銭を入れて、お参りをした。(一、L12)
- (22) お誕生日は何月何日ですか。(一、L2⁽⁸⁾)
- (23) お家は海に近いですか。(一、L6)
- (24) ところで、今晚お時間がありますか。(一、L8)
- (25) 部長、お名前を書いてくださいませんか。(一、L9)
- (26) ところで、ご両親は賛成ですか。(一、L12)
- (27) お体はもう大丈夫ですか。(二、8)
- (28) ご相談したいことがあって、お電話させていただいたんですが。(三、L6)

美化語と尊敬語としての「お/ご+名詞」の用例は多くあり、謙讓語としての「お/ご+名詞」は「お電話」の1例のみであった。しかし、「敬語」についての解説の部分を確認してみると、何も記述されていなかった。

5. 「お/ご+形容詞」形式の敬語について

5.1 『標準』での調査結果

『標準』では、「お/ご+名詞」だけでなく、「お/ご+形容詞」形式の敬語もあった。その用例を以下に示す。

- (29) 徐さんは日本語がとてもお上手ですね。(初・L12)
- (30) 先生がお好きな福建省のウーロン茶です。(中・L14)
- (31) 今日はお忙しいようですから、また明後日伺います。(中・L18)
- (32) お怒りはごもっともです。(中・L19)

「お/ご+形容詞」について、『標準』中級の第18課に「お+形容詞」について、第19課では「ご+形容詞」について以下のように記述されている。『標準』では「お/ご+形容詞」の場合、尊敬語の用例のみであり、美化語と謙譲語としての用例はなかった。

お詳しい

这是由一类形容词“詳しい”前接表示尊敬的“お”构成的形式。这种形容词的尊敬表达方式用对听话人或话题中谈及的人物状态表示尊重（初级第47课），如“お忙しい（忙碌）”“お美しい（美丽）”等。

これはイ形容詞「詳しい」の前に尊敬を表す「お」を付けた形式である。このような形容詞の尊敬形式は聞き手または話題の中の人物の状態に対して尊敬を表す。例えば、「お忙しい」「お美しい」などある。
(筆者による日本語訳)

ごもっとも

“ごもっとも”由表示合情合理的二类形容词“もっとも”前接表示尊敬的“ご”构成。表示对对方认为是理所当然的想法的尊重。用于接受对方的言行或者承认对方有道理の場合。本課中一方面表示理解对方生气的心情，一方面也是为了摆脱导致客户生气的尴尬局面而迎合对方，可以视为二者参半的表达方式。

「ごもっとも」は「合理に合っているさま」という意味のナ形容詞「もっとも」の前に尊敬を表す「ご」を付けた形であり、相手が考えていることが当たり前のことであるという考え方への尊重を表す。相手の言動を受け、または相手が言っていることが正しいと認めるときに使う。本課では相手が怒ることを理解する一方、お客様が怒らせたことをできるだけ和らげようとする言い方である。
(筆者による日本語訳)

5.2 『新経典』での調査結果

『新経典』では、尊敬語としての「お+形容詞」は第四冊に次の1例があった。

(33) お好きな季節はどれですか。(四、L17)

『新経典』では、「お/ご+形容詞」の解説について次のように記述されている。

尊敬語（尊敬語）：对他人的动作、行为表示尊敬。

形容词、形容动词：在前面加上「お/ご」。

忙しい→お忙しい　多忙→ご多忙

美化語（美化語）：优美文雅地表达事物。

前面加上「お」：上品→お上品

前面加上「御（ご）」：立派→ご立派

尊敬語：他人の動作、行為への尊敬を表す。

イ形容詞とナ形容詞：前に「お/ご」を付ける。

忙しい→お忙しい　多忙→ご多忙

美化語：物事を美化して述べる。

前に「お」をつける：上品→お上品

前に「ご」を付ける：立派→ご立派

(筆者による日本語訳)

『新経典』では、「お/ご+形容詞」の場合、尊敬語と美化語の二種類の用法が確認できた。しかし、『新経典』という教科書は、第二冊で敬語について敬語をまとめて説明する課に出現例が集中しており、その後の出現率が低く、また、先生と学生の間の会話の例文も尊敬語や謙譲語が使用されていないので、学習後の定着が問題となる。

6. まとめ

本稿では、中国で使用範囲の広い教科書『中日交流標準日本語』全6冊と『新経典日本語 基礎日本語』全4冊を調査対象として、「お/ご+名詞」と「お/ご+形容詞」を中心に調査を行った。調査した結果、二種類の教科書の用例から、接頭語「お/ご+名詞」に尊敬語・謙譲語I・美化語の用例が確認されたが、教科書の解説にはいずれもそれについての充分な説明のないことが明らかになった。『標準』では「お/ご+形容詞」の場合、尊敬語の用例のみがあり、美化語の用例はなかった。『新経典』では「お/ご+形容詞」の場合、尊敬語と美化語の二種類の解説があったが、美化語としての用例がなかった。すなわち、いずれの教科書においても、「お/ご+名詞/形容詞」についての解説が不十分であることが今回の調査で明らかになった。

また、『標準』は「お/ご」についての解説が初級の終わりに書いてあるが、その前の課に「お/ご」の用例が多くあり、解説をもっと最初の段階で入れるべきであろう。『新経典』の問題点としては、最初に解説を入れてあるものの、その後は敬語についての記述や練習などがほとんどなく、学習者における学習の定着度が問題となるものと考えられる。

注

- (1) 本稿では、「形容詞」はイ形容詞とナ形容詞の両方を指す。区別が必要な場合はイ形容詞とナ形容詞に分ける。
- (2) 『新版 中日交流標準日本語』は1988年に出版された『中日交流標準日本語』の修正版である。新版(第二版)は、人民教育出版社と日本光村図書出版株式会社共同で作製した独学用の教科書であり、2005年に出版された。
- (3) 『新経典日本語 基礎教程』は2015年に出版された。初級学習者を対象とした教科書である。
- (4) 「大学日本語」は大学入学試験で外国語を英語ではなく、日本語という科目で受験した学生、

または一定の日本語能力に達した学生を対象に設けた授業である。

- (5) 『標準』の初級の第何課目にあるのかを表す。
- (6) 『標準』の中級の第何課目にあるのかを表す。
- (7) 『標準』は4課で一つの単元としており、4課ごとに「単元末」がついており、「実用会話」や「類別言葉（例えば、食べ物に関する言葉や、仕事に関することば等）」「日本文化」が紹介されている。
- (8) 『新経典』の第一冊第2課を指す。

参考文献

井上史雄（1999）『敬語はこわくない』講談社

蒲谷宏・川口義一・坂本恵（1998）『敬語表現』大修館書店

川口義一（1986）「日本語初級教科書における敬語の扱われ方」『国語学研究と資料』9

文化審議会答申（2007）『敬語の指針』

教科書

『新版 中日交流標準日本語』第二版（2005）人民教育出版社

『新経典日本語 基礎日語』（2014）外語教学与研究出版社

（ま・ゆん 江西農業大学）